

1	議席番号 12番 増田 剛士 議員	開始予定時刻 6月13日 午前9時
<p>【身近な生活交通手段の環境整備について】</p> <p>過去3回交通関連の一般質問を行っており、公共交通機関に関しては、これまでの質問で「しずてつジャストライン」の維持を優先することを確認し、町内巡回バスやデマンド型のシステム導入には、差し迫った時期になっていないという見解を頂いています。</p> <p>今回は視点を変えて生活交通手段の環境整備について質問致します。生活交通手段として、徒歩、自転車、バイク、自動車等があげられ、町内では自動車が大半を占めている現状です。</p> <p>昨年12月に「自転車活用推進法」が施行され、身近な交通手段である自転車の活用による環境への負荷の低減、災害時における交通機能の維持、国民の健康の増進等を図ることが重要な課題であるとの基本理念を示しています。</p> <p>また、第5次吉田町総合計画の生活交通の課題として高齢者の移動手段の確保対策が示されています。</p> <p>身近な生活交通手段の環境整備について以下質問致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 身近な生活交通の手段として自転車利用が推進されているが、自転車専用レーンの整備に関し町の見解は。 2 自転車利用の環境整備として駐輪場の整備に関し役場庁舎南側の駐輪場は、飽和状態であると見受けられるが町の見解は。 3 町道の歩道確保とグリーンベルトの設置状況は。 4 高齢者の移動手段としてのシニアカー利用が考えられるが交通安全対策は。 5 高齢者の自動車運転免許証の返納後の交通手段（移動手段）の確保について町が考える対策は。 		

2	議席番号 5 番	大石 巖 議員	開始予定時刻 6月13日 午前10時
<p>【豊かな自然と共生するまちづくりについて】</p> <p>近年、フナやハヤなどの川魚、川や田で餌をついばむサギの姿が減ったように感じます。</p> <p>また、吉田町へ来町された方の印象として緑が少ないとの話を聞きました。</p> <p>町民憲章では、「水と緑に恵まれた自然を愛し、住みよいまちをつくりま</p> <p>す」と謳っています。</p> <p>自然を大切にする住民意識の向上と行政の取り組みが一体となって暮らしやすいまちづくりに努力する必要があります。</p> <p>以下、町の取り組みについて質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 魚類・鳥類など、従来から生息していた生物が減少していると思うが自然環境の現状をどう見るか。 2 第5次吉田町総合計画の施策の大綱第6章「豊かな自然と共生するまちづくり」における川魚の住みやすい環境づくりやサギなど鳥類の生息しやすい環境づくりなど、緑豊かな自然と共生する環境づくりの具体的施策を問う。 			

3	議席番号 3 番	遠藤 孝子 議員	開始予定時刻 6月13日 午前11時
<p>【わが町の健康づくりの推進について】</p> <p>第5次吉田町総合計画前期基本計画として、「誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり」を基本理念に掲げ、すべての町民が「自分の健康は自分で創る」とし、一次予防を推進してきました。一人ひとりが生涯を通していきいき暮らせる健康づくりを推進してきました。</p> <p>今、少子高齢化の進行、ライフスタイルの変化など町を取り巻く環境が大きく変化する中、前期基本計画においては「地域ぐるみの健康づくりの推進」を重要施策としています。そこで次のことについてお伺いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町内会単位で行う健康教室や啓発の促進について 昨年度、地区健康度アップ事業を5町内会で実施しました。 その成果と課題について、また今年度の事業の内容と目標についてお聞きします。 2 児童・生徒や若い世代に対する健康教育の実施について 			

小・中学校での健康に関する教育の内容と目指すところをお聞きします。

3 健康づくり事業について

健康づくりは、健康推進と食育推進が密接に関わり合うことが大事である。そこで、健康教室講座における食育のねらいと学齢期からの関連についてお聞きします。

4 議席番号 6 番

山内 均 議員

開始予定時刻

6月13日 午後1時

【公共広場の利用と衛生設備の水洗化について】

コミュニティ広場等の公共広場や大井川高島グラウンドは、健康の維持管理や地域コミュニティの形成に大いに役立っている。

コミュニティ広場は多面かつ幅広い年齢層での利用がなされるべきだが、グラウンドゴルフ等特定の領域に偏っているところがある。

しかしながら、高齢化が進んでいる現在、コミュニティ広場の利用は健康の維持管理または医療費削減に重要な役割を担っているのではないか。

コミュニティ広場は大人から子供まで多くの方が安心して健康的に利用することが期待される場所であり、衛生設備の水洗化は多くの利用者からの切なる要望が出されている。

大井川高島グラウンドは、サッカーや野球、グラウンドゴルフ大会等多様なスポーツと幅広い年齢層に利用されている。また他市町からの利用もあると聞く。堤防の西側の衛生設備の水洗化は多くの方が望むところである。

現在、公共広場の環境改善が進んで多くの衛生施設は水洗化されている。そこで質問をします。

1 コミュニティ広場等の公共広場の利用及び管理運営について

(1) コミュニティ広場等、公共の広場にはどのような目的や形を描いているのか。

(2) 神戸コミュニティ広場の利用は、土曜日・日曜日はグラウンドゴルフに利用しないで地域に開放されている。

これを導く過程はどのようなものであったのか把握しているか。

(3) 安心して健康的に利用するには衛生設備の水洗化は必須と思うが町の考えは。

2 大井川高島グラウンド西の衛生設備について

(1) サッカーや野球、グラウンドゴルフ大会等恒常的に利用されている。グラウンドゴルフ大会では150人を超すメンバーの参加があり、女

性の参加は特に多い。

管理は生涯学習課と確認した。衛生設備の水洗化は考えていないか。

(2) 島田市は大井川河川敷をスポーツやリクレーション等、利用が広くなされている。

町はもっと多くの利用施設として開発する計画はないか。

【展望台小山城公園の衛生設備について】

現在の展望台小山城公園の衛生設備は西門からの入り口付近にあるが、メインの公園との距離がかなりあるために不便を感じる時があると聞く。

将来駐車場が整備され利用者が多くなった時を考えると水洗トイレの増設・設置位置の検討をする必要があると思う。

1 増設の検討の必要があると思うが、町の考えを聞く。